

真鶴

第 12 号

平成13年8月

議会だより

発行／真鶴町議会 〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1 TEL.0465-68-1131
FAX.0465-68-5119



岩海岸の新しい監視所



町の花
はまゆう

もくじ

6月定例会	2
視察レポート	4
一般質問	5

この議会だよりは、再生紙を使用しています

真鶴 議会だより

査・測量等へ妨害行為をしている者に対し、妨害行為の申止を求めるため、地方自治法の規定により、裁判所への調停申立てに際し、議会の議決が必要なため提案され、活発な質疑の後裁決に移り、賛成多数で可決されました。

費の道路新設改良費では、道路などの用地取得の精算による減額、教育費の文化財保護費で、文化財の保存管理奨励のための交付金を追加することなどが主なものです。

査・測量等へ妨害行為をしている者に対し、妨害行為の申止を求めるため、地方自治法の規定により、裁判所への調停申立てに際し、議会の議決が必要なため提案され、活発な質疑の後裁決に移り、賛成多数で可決されました。

補正予算

一般会計補正予算（第二号）

既定の歳入歳出予算にそれぞれ八千八百四十一万一千円を追加し、総額を三十一億八百八万四千円とするものです。

歳入は、分担金及び負担金の衛生費負担金で、し尿貯留場の配管布設替えに伴つ湯河原町から負担金の追加、繰入金は、土地購入等の財源に充てるため、財政調整基金 まちづくり推進事業基金、みどり基金ほかから所要の繰入金を追加することなどです。

歳出は、総務費の財産管理費で、旧診療所及び真小の隣接地の土地の購入に係る経費を、農林水産業費の林業総務費では、良好な自然環境保全のための土地購入費をそれぞれ追加、土木

費の道路新設改良費では、道路などの用地取得の精算による減額、教育費の文化財保護費で、文化財の保存管理奨励のための交付金を追加することなどが主なものです。

湯河原町真鶴町衛生組合議会
議員の補欠選挙湯河原町真鶴町衛生組合議会
議員の補欠選挙老人保健医療特別会計補正予算
（第一号）

平成十二年度の精算額が確定したことにより、既定の歳入歳出予算にそれぞれ二千五百十三万一千円を追加し、総額を九億四千六十二万四千円とするものです。

歳入は、繰越金の二千五百四万八千円の追加が主なものです。歳出は、諸支出金の償還金二千四百九十万六千円の追加が主なものです。

請願

新たに提出され、担当常任委員会に付託・継続審査となつた請願

請願第一号

真鶴町に学童保育所の設置を求める請願

（民生常任委員会）

6月定例会で審議した議案と結果

議案名	審議結果
専決処分の承認を求ることについて（真鶴町税条例の一部を改正する条例の制定）	承認（全員賛成）
真鶴町奨学基金条例の制定について	可決（全員賛成）
真鶴町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員賛成）
真鶴町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員賛成）
町道路線の変更について	可決（全員賛成）
町道路線の認定について	可決（全員賛成）
調停の申立てについて	可決（賛成多数）
平成13年度真鶴町一般会計補正予算（第2号）について	可決（全員賛成）
平成13年度真鶴町老人保健医療特別会計補正予算（第1号）について	可決（全員賛成）
真鶴町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員賛成）

選挙

六月二十一日の本会議において湯河原町真鶴町衛生組合議会議員の補欠選挙が行われました。選挙は指名推選の方法により行われ、川崎日出男議員が当選しました。

あなたも議会を傍聴してみませんか
議会の傍聴は町政のうごきや議員活動、議会運営などを知る最も良い方法です。手続きは簡単です。お気軽におでかけください。
次の定例会は、8月に行われます。
日程などは8月下旬の議会運営委員会で決まります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
電話 68-1131 内線 362~363

五月二十三日大分県湯布院町の観光総合事務所由布院にて、議会だよりの視察を行いました。

私は、かつて中谷さんと言えば「峠の向こうに広がる風景」を読んだことを織り交ぜながら、湯布院町というと、日本有数の温泉地・別府から三〇キロメートルほど奥に入った人口一万二千人足らずの小さな温泉町ですが、大変人気があり、年間四百万人が訪れていています。「ゆふいん音楽祭」や「湯布院映画祭」などでも全国に名が知られ、「一村一品運動」の先頭事例として数少ない成功例としても有名な町です。

由布院 観光総合事務所



住民が中心となつたまちづくりを進めてきた町として自治体関係者から注目を集めている町でもあります。今回の視察先は湯布院町役場ではなく「由布院観光総合事務所・クアージュゆふいん」で、由布院温泉観光協会会長で亀の井別荘を経営されている中谷健太郎さんに「ゆふいん物語」のお話を伺いました。

新しいまちづくりが始まつたのは四十六年前にダム建設反対運動をリードした当時三十六歳の青年医師が町長に当選、この中でみんな自らの手で何かをつくつていこうという気風が生まれたとのことです。十六～十七世紀に由布院がカソリックの町であったことも進取の気風を生んだ遠因と思われています。



私は、かつて中谷さんと言えば「峠の向こうに広がる風景」を読んだことを織り交ぜながら、湯布院町といふと、日本有数の温泉地・別府から三〇キロメートルほど奥に入った人口一万二千人足らずの小さな温泉町ですが、大変人気があり、年間四百万人が訪れていています。「ゆふいん音楽祭」や「湯布院映画祭」などでも全国に名が知られ、「一村一品運動」の先頭事例として数少ない成功例としても有名な町です。

黒川温泉 観光旅館協同組合

さて、湯布院町といふと、日本有数の温泉地・別府から三〇キロメートルほど奥に入った人口一万二千人足らずの小さな温泉町の大きな思想家という感じさえしました。

環境を守る運動も町おこしの運動もマスコミは住民主導というが、住民の声を聞かないと行政が成り立たない、そういう気風が出来上がってきたと言いました。講演の中身は、本物でなければいけない、観光業、旅館業としてやつていけないというような内容でありました。本物という言葉の中身は、それぞれの価値観、考え方で大きく違うのではないかと思われますが、強烈に本物という言葉が私の心に残りました。



たもの一つに「牛一頭牧場運動」。都市に住む人たちに一口二十万円で畜主になつてもらい、利子代わりに当町の特産物を毎年贈る。そこに都市と農村の交流も自然に生まれる。まさに「石三鳥の知恵で運動は広がつた」。

「住環境保全条例」「潤いのある町づくり条例」は全国の賛辞と注目を集めました。

周辺の歓楽街型観光地と一线を画し続けてきた湯布院町でも、農村と観光の断絶が進んでいま

す。元気な町といつても他の自治体と同じような課題を抱え、農業人口は減る一方で観光客は増え続けています。

これから湯布院町がどんな「まちづくり」「人づくり」を展開するのか、今後しばらく湯布院町から目を離せません。

協働による学習環境づくりなど、地域、学校、家庭の三者連携を深めている。

子供たちにとって一番安全であるべき学校で発生した大阪池田小学校での殺傷事件は強い衝撃と悲しみを残した。

当町としては開かれた学校づくりとして、オープンスクールや学校公開日の開催、地域との協働による学習環境づくりなど、元気な高齢者の協力も見逃せないし、隣町のように子ども一人番制も良い考えだが。

Q1 教育機関の安全管理は?

警視庁の調査によると、幼稚園から大学までの侵入事件は一九九〇年は七七八件、二〇〇〇年には一三五五件と激増している。文部科学省も不審者の校内侵入防止策を早急に講ずるよう通知している。本県でも自治体や学校に安全確保、管理を求めている。

当町においてはどのような対策が講じられているのか。学校だけでなく、関係機関と住民が一体で対策を考えるべきである。



真鶴小学校

▼回答▲

この問題には日常の安全確保と緊急時の対策があり、教育委員会として取り組むべき事項として考えています。当町の場合、子どもたちの安全確保を最優先にの考えはもちろんですが、立地上、防犯防災問題や地域の生

も含めて最大の努力をするとともに、関係団体、地元の皆さんへの協力を求めていきたいと思います。今の段階では、地理的条件、建物の構造上の問題、部屋の配置等諸条件の中で人的な面

も含めて最大の努力をするとともに、関係団体、地元の皆さんへの協力を求めていきたいと思います。今の段階では、地理的条件、建物の構造上の問題、部屋の配置等諸条件の中で人的な面

Q2 ファミリー サポートセンター の導入を!

全国で六十一市が設立、小田原市は平成十年に設立され依頼会員四〇六名、支援会員一五八名である。現在では人口五万人未満でもニーズの高い地域は実施できるようになった。当町としては下郡三町の広域で、また小田原市の支部としての設立も考えられるが町の考え方を伺う。

▼回答▲

広域での、あるいは小田原市に取り込まれての設立は考えられますが、まず人口一万の中で

真鶴 議会だより

このような子供たちをどう保育していくかという問題があります。常に学童保育が要求されながら、実際の数値をはかつて行くとさほど希望が出てこないという実績があがっています。

この問題は請願として民生常任委員会に付託されますので十分な審議をしていただきたい。

ただし、ボランティア活動という面では当町は他市町村に劣つていません。介護保険に際してもボランティアである登録へルバーの方々が大きな意味で補完してくれています。ボランティア活動はこの町で根づいていますからこれを発展させてそのままから皿をどうするかが先です。それでも足りないものはこのようないいサポートセンターや、広域の連携の中で探つて行く必要があります。

Q3 ドクターへりの運行を！

ドクターへりの運用について伺う。

厚生労働省のモデル事業として、神奈川県では、東海大病院でドクターへりを試験的に実施

してきた。その結果、交通事故や災害など一刻を争う場合には、ドクターへりが有効であることが明らかになつた。しかも、真鶴町を含め、高度医療設備のない県西地域ほど、この制度は必要と思う。

厚生労働省は、本格的実施に年間経費の三分の一の負担を県に要請した。しかし、平成十三年度は県が、この制度を実施しないことになった。この問題について、必要性・有効性を訴えている市町村もあるが町は県に働きかける考えはあるか。町長の見解を伺う。

▼回答▲

私のドクターへりに対する考え方には、かなり人の命が助かっているこの制度については、多くの費用を要しても必要なことなので続けてほしいということ。さらに神奈川県の防災へりを活用してもできるのではないかと、お願いしていますが、理解されていないのが残念です。

県議会の全党派も手を握って、思っています。当町は、来年度予算化を県に要望していきます。

Q4 今後の し尿処理は？

よる海洋汚染防止に関する条約、いわゆるロンドン条約が締結されたことにより、し尿等の海洋投棄が禁止されたことから、真鶴町と湯河原町は足柄上衛生組合に処理委託をお願いをし、足柄上衛生組合も受け入れを同意をしたと聞いている。この費用

や、運搬の方法、住民のいろいろな感情について、どのように検討しているのか。

海洋投棄船



▼回答▲

ただし、陸上輸送となれば、日に一〇トン車で六往復します。磯崎にある貯留槽もかなり寿命にきてます。ああいう施設を別の場所に動かすのはなかなか大変ですが、造りかえる時期にはきちんとしかるべき適当な場所へ動かします。それまで当分の間、あの施設を利用していいたいので、しばらくの間磯崎や大道の人、通過する人たちに我慢してくださいとお願いいたしました。

Q5**市町村合併は?**

市町村合併の問題は、あくまでも住民の意思を尊重して決めるべきであると思う。県の市町村合併に関する要綱、あるいは地方自治の精神から逸脱した政府方針に迎合することについて、町長の見解と異なると思うがこの点について伺う。

回答

町会としても漫然と国の言ふことを鵜呑みにしているわけではなく、押し付けの合併や交付税切り下げなどとんでもありません。地方の税財政をもとと拡充する等、国と反対のことを要望はしています。ただし、国の借金が六百兆を超えたとき、必ず今度は財政基盤の弱い自治体に交付税はやれない。その対象、ターゲットになる真鶴町、あるいは湯河原町もそうなるでしょう。その前に合併もタブー視しないで、この問題を突き詰めてみようではないでしょうか。まして湯河原町と真鶴町はほとんどハードの事業は

緒にやっているわけです。それでも今の状態が良いのかは、住民が選び、議会が選ぶわけです。

本当の合併の規模的な財政基盤的なメリットを求めるなら、湯河原と真鶴、マイナスとマイナスが一緒にならぬプラスになる計算は出でません。その次に小田原市というぐらいのところまでいかなければ、財政基盤の強い自治体はできません。

まずは自分の足元の真鶴町がどうしていこうか、自立できるか研究をし、合併もあるな広域連合もあるな、塩をなめるくらいの覚悟があれば真鶴町のやりようでやろうじゃないかといふところまで突き詰めて議論し、その正しい情報を町民に流して、最後は町民が判断するものと考えています。

回答**Q6 職員の研修・執務並びに地域の情報化は?**

職員全員がIT技術の早急な習熟と創意工夫をして、府内の執務環境を整備する計画性及び地域の情報化を進める政策的具体的な展開はどうなっているか。



執務風景

回答

研修面では平成十二年度は財務会計のパソコンネットワーク化に伴い、教職員を含めた各種のパソコン研修を実施。

府内執務環境の整備は、財務会計の導入により、庁舎と小・中学校、魚座、美術館などの出先機関とを結ぶネットワークとしての

WANワードエリア・ネットワークの構築は、出来上がっています。最終的な目標である一人一台のパソコン配置により、職員間の情報の共有化を図りながら電子決裁によるペーパレス化の実施まで持つて行きたいと考えています。

地域情報化については、住民情報あるいは健康、福祉などのトータル的な住民サービスのシステムを構築、また導入し、現総合計画

に位置づけたこの事業の着実な推進を図っていきます。

Q7**町史の続編資料の収集管理は?**

五年後に新町政が敷かれて五十周年を迎える記念事業の一つとして町史の続編を出す考えはないか。

散逸の恐れがある各資料の収集保存を計画的、かつ、適切に行う用意があるか。

回答

五年後になる後期基本計画の中で位置づけできればと考えています。

資料の収集保存の面では、文書管理規程が既に整備され、基本的には公文書の保存は適正にされていますが、規程の対象外である写真や、将来的に町史を行する際に必要となってくるような資料の取扱いをどうするかなど、今後体系立てた収集、保管を検討し職員への周知徹底を図っています。

Q8 市町村合併の資料を!

合併後の市町村類型が類似団体別市町村財政指指数表の何型の類型になるのか。参考資料として、早急に県から提出を求めるたい。

▼回答▲

既に交付税の部分で、基準財政需要額から一億円ぐらい削られてしまう。非常に厳しくなります。このような材料を提供するのがわれわれの立場になります。

Q9 町の活性化対策は?

今年四月からスタートした第三次真鶴町総合計画の中で、目標として町の有する自然、歴史、文化等の地域資源を生かし、観



体験学習入村式

光を軸にしながら新たな産業を住民、企業、行政とが協力をして創出をしていきますとあるが、

今現在どのような方向で進んでいるのか。

また長引く不況で町の中小業者、観光業者の経営は大変なものになっており、商店街では商店をやめる店も出てきている。経営の大変な町の事業者に対し

て、町として融資制度を行なう考えはないか。

察研修で学んできただけたと思います。そこに住む人が暮らしやすかつたらひなびた町でいい。そういう町に新しい観光客は来ます。

真鶴の観光客が今、百万人に減ったことを嘆くよりも、まだ百万人来ている。この人たちをどうもなすかということを視

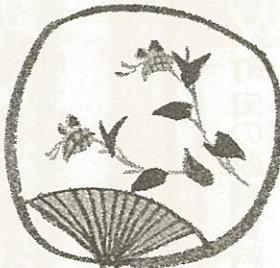
察研修で学んできただけたと思います。そこに住む人が暮らしやすかつたらひなびた町でいい。そういう町に新しい観光客は来ます。

それは今何をやっているのか。これは私がやつたわけではなく民間が動き、私どもの産業観光課の課長が同行して、昨年から準備し、それに観光協会、漁業組合等が関わって岐阜県あるいは愛知県から修学旅行を招き入れました。来年になれば五校か、もっと多くの人たちが来ます。そこで友好を結ぶ地道なところから始まっています。

野外芸術祭も今年はもう少し元に戻ってみよう。その第一弾として、ここに住む若者たちのユースコンサートを野外に戻してみようと今、それに取り組んで一生懸命若い人たちがやっています。もう一つは、神奈川フイルと真鶴中学校の吹奏楽部とを合わせてやろう。また貴船まつりの継続や海岸の整備等、いい材料もそろってきましたのでこれを使って、新しい町づくりに発展させていきたい。

融資制度については、現在の預託金制度の要綱を見直し、今後の中小企業融資制度見直活用検討委員会で中小企業者の育成振興を図っていきます。

編集後記



真鶴町議会報編集委員会
委員長 青木照夫
副委員長 青木透
委員 岡ノ谷佳子
神野秀子
黒岩宏次
青木茂